

研修計画

<学校教育目標>

「よく遊び よく学ぶ子」

学びいっぱい

<研究主題>

『ともに高め合う子』

表現力のある子

基礎学力が
ついている子

語彙力をもち、
生かせる子

活用する力の
ある子

<研究の仮説>

- (1) 子どもたちの実態を把握し、つきたい力を明確にした単元構想や学習問題、板書の工夫に努め、
- (2) 基礎的な指導、支援を行う中で、自分なりの考えをもたせ、聴いてつなげることを大切にさせていけば、
自分なりの言葉や動作で表現し、仲間との関わりからよりよいものを求め続け、ともに高め合う子に育つだろう。

研究内容（１）

子ども理解・学習活動・学習過程の在り方

- ① 子どもの実態把握
 - ・ 疑問に思っていることは何か
 - ・ 座席表から見取る
 - ・ 授業の後の振り返り
- ② 単元構想・学習問題・板書
 - ・ 価値に見合った課題が自分の問題となっているか
 - ・ 挑戦してみたくなる困難さ・面白さのある課題か
 - ・ 課題提示の工夫（映像・実物・新聞等）
 - ・ 既習事項を児童が活用する学習展開になっているか。（系統性を考慮していく）
 - ・ 児童の思考の流れが板書に整理されているか。

研究内容（２）

さまざまな支援の在り方

- ① 日常の基礎的な指導・支援
 - ・ 読書の充実 ・ ドリルタイムの充実
 - ・ 国語辞典の日常化
 - ・ 家庭学習の習慣づけと充実
 - ・ 情報教育の充実（NIE、IT 活用等）
- ② 自分なりの考えをもたせるための支援
 - ・ 前時までの学習の掲示（資料・板書等）
 - ・ ノート指導
 - ・ 学習の仕方・千浜っ子ブックの定着（調べ方・話し合いの仕方・作品の作り方等）
- ③ 聴いてつなげる支援
 - ・ 話すステップ表
 - ・ 話し合いの形態、方法を適切に設定しているか